



## 主要な農作物の生育情報

平成27年度 第4号

(平成27年7月7日)

福島県農林水産部農業振興課



### 【作物】

#### 1 水稲

6月30日現在の農業総合センターの生育調査では、草丈が平年並から長く、茎数が平年並から多く、主稈葉数が平年並から多くなっています。ただし、5月15日植えの本部（郡山）では、草丈が平年より短く、茎数が平年より少なくなっています。

表1 水稲の生育状況（※）

調査場所	品 種	移植期 (月.日)	6月30日調査			
			草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	主稈葉数 (枚)	葉色
本 部	コシヒカリ	5. 1	54.4 (101%)	691 ( 95%)	10.6 (+0.4)	36.3 (-0.8)
	ひとめぼれ	5. 1	54.7 (106%)	801 (105%)	10.5 (+0.3)	38.6 (-0.7)
	コシヒカリ	5.15	45.0 ( 91%)	543 ( 73%)	9.4 (-0.1)	35.0 (-3.4)
	ひとめぼれ	5.15	47.0 ( 96%)	578 ( 74%)	9.7 (+0.2)	36.5 (-4.4)
会津地域 研 究 所	コシヒカリ	5.20	53.7 ( 99%)	812 (120%)	10.5 (+0.6)	37.7 (-0.5)
	ひとめぼれ	5.20	51.5 ( 98%)	831 (112%)	10.3 (+0.4)	40.4 (-0.6)
浜 地 域 研 究 所	コシヒカリ	5.10	58.9 (109%)	801 (121%)	9.6 (+0.1)	39.0 (+0.8)
	ひとめぼれ	5.10	60.7 (114%)	757 (106%)	9.8 (+0.1)	42.7 (+1.5)

※ 調査場所は、本部（郡山）、会津地域研究所（会津坂下）、浜地域研究所（相馬）。

葉色は、SPAD502による測定値。

( ) 内の数字は、平年比較値を示す。

#### 2 大豆

農業総合センターにおける生育調査の出芽日数は、本部（郡山）の6月1日播種で乾燥の影響により平年より5日長くなりましたが、それ以外は、平年並から2日程度早まりました。

表1 大豆の生育状況（※）

調 査 場 所	品 種	播植期 (月.日)	出芽期 (月.日)	出芽日数 (日)
本 部	タチナガハ	6. 1 (±0)	6.15 (+5)	14 (+5)
		6.18 (-2)	6.24 (-3)	6 (-1)
	あやこがね	6. 1 (±0)	6.15 (+5)	14 (+5)
会津地域研究所	あやこがね	6. 1 (±0)	6. 9 (±0)	8 (±0)
		6.19 (-2)	6.25 (-2)	6 (±0)
浜地域研究所	タチナガハ	6.11 (±0)	6.17 (-2)	6 (-2)
		6.25 (+1)	6.30 (±0)	5 (-1)

※ 調査場所は、本部（郡山）、会津地域研究所（会津坂下）、浜地域研究所（相馬）。

( ) 内の数字は、平年比較値を示す。

### 【野菜】

#### 1 夏秋きゅうり

5月下旬定植の露地栽培は、主枝摘心が終了し平年並に生育しています。収穫は6月下旬から始まり、現在は主枝中段から側枝下段のきゅうりが収穫されています。今後本格的な出荷が見込まれています。

## 2 夏秋トマト

4月上旬定植の夏秋栽培は、平年並に生育しており現在8～9段果房開花、3～4段果房を収穫中です。生育初期の低温の影響で1～2段果房に障害果が発生しましたが、現在は形状の良いトマトが収穫されています。

## 3 サヤインゲン

5月下旬定植の露地栽培は、乾燥の影響により一時生育が停滞しましたが、平年並の6月下旬より収穫が始まりました。今後、収穫が本格化する見込みです。

## 4 夏秋ピーマン

4月下旬定植のトンネル栽培は、定植時の乾燥等の影響により、生育が停滞しましたが、平年並に6月上旬から収穫が始まりました。今後、本格的に収穫が始まる見込みです。

## 5 夏秋ナス

5月中旬定植の露地栽培は、平年並の6月下旬から収穫が始まりました。今後、収穫が本格化する見込みです。

### 【果 樹】（7月1日現在：農業総合センター果樹研究所）

#### 1 も も

果実肥大を暦日で比較すると「あかつき」の縦径は50.7mmで平年比108%、側径が52.4mmで平年比116%、「ゆうぞら」の縦径は50.3mmで平年比109%、側径が45.5mmで平年比111%と各々平年より大きい状況です。

また「あかつき」の収穫期予測は、収穫開始が7月24日頃、収穫盛期は7月28日頃で平年より9日程度早まると予測されます。

#### 2 な し

果実肥大を暦日で比較すると「幸水」の縦径は37.5mmで平年比119%、横径が46.3mmで平年比125%、「豊水」の縦径は38.0mmで平年比115%、横径が41.8mmで平年比119%と各々平年より大きい状況です。

また「幸水」の収穫期予測は、収穫盛期は8月25日頃で平年より8日程度早まると予測されます。

#### 3 りんご

果実肥大を暦日で比較すると「つがる」の縦径は53.8mmで平年比110%、横径が62.2mmで平年比114%、「ふじ」の縦径は46.9mmで平年比107%、横径が52.7mmで平年比114%と各々平年より大きい状況です。

### 【花 き】

#### 1 キク類

7月咲き露地栽培で、コギクは定植後の高温により生育が7～10日程度早まり、6月下旬に出荷ピークを迎えました。草丈は生育が早まったことや乾燥の影響により平年より短く、60cm級中心の出荷となっています。輪ギクもコギク同様、定植後の高温により生育が7～10日程度早まり、6月下旬に出荷ピークを迎えました。草丈は生育が早まったことや乾燥の影響により平年より短く、70～80cm級中心の出荷となっています。

8月咲き露地栽培は、7月咲き同様、高温や乾燥の影響により生育が7～10日程度早まり、草丈は短くなっています。

#### 2 リンドウ

極早生は、平年並の6月下旬から出荷されており、平年並～やや長い60～70cm級中心の出荷となっています。早生や中晩生は草丈が平年並からやや長くなっています。

アザミウマ類やリンドウホソハマキの被害が散見されています。

#### 3 シュッコンカスミノウ

会津地方の越冬株は平坦部では平年並の出荷が行われていますが、高冷地は雪解けの遅れにより開花が5日程度遅れて推移しています。抑制の作型では定植が順次行われており、生育も順調です。ハモグリバエ類の被害が散見されています。

#### 4 トルコギキョウ

半促成栽培は5月以降の高温により平年より生育が5日前後早まり、6月下旬に出荷ピークを迎えました。季咲きや抑制の作型でも、5月以降の高温により生育は平年並～やや進んでいます。一部でアザミウマ類の発生が見られます。

#### 【飼料作物】

##### 1 牧草

1 番草は5月下旬から収穫期となり、収穫作業が行われました。収量は5月中の少雨の影響により平年を若干下回る状況となっています。2 番草は、順調に生育しており、7月中旬以降に収穫期となる見込みです。

##### 2 飼料用とうもろこし

5月中の少雨の影響により発芽・生育にばらつきが見られましたが、その後の降雨により回復し、現在10葉期前後で、順調に生育しています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujoyouhou>